

令和3年6月

菊浜学区の皆さまへ

京都市建設局土木管理部河川整備課

高瀬川改修工事に伴う 樹木整備に関するアンケート調査のお願い

日頃は、京都市の建設行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

高瀬川では、現在、五条通から七条通南までの区間について、河川を整備する計画を検討しており、併せて当該区間内の樹木についても整備することを予定しています。

前回の「菊浜高瀬川フォーラム(座談会)」では、高瀬川沿いの植樹帯に生育する樹木について、多くのご意見をいただきました。

そのため、樹木整備の検討に当たり、地域の皆さまのご意見をお聞かせいただきたく、アンケートを行うことといたしましたので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケート結果を参考にして、今後の樹木整備等を考えていきます。



昭和橋から上流（高瀬川沿いの植樹帯）

回答に当たりましては、本紙裏面の「高瀬川再生プロジェクトについて」と別冊の説明資料をご一読いただき、別紙のアンケート調査票にお進みください。

なお、アンケート調査票は、同封した返信用封筒で、**令和3年7月4日(日)**までにご投函ください。

【同 封】

本依頼文のほかに、以下の資料を同封しております。

- ・高瀬川改修工事に伴う樹木整備に関するアンケート調査説明資料
- ・高瀬川改修工事に伴う樹木整備に関するアンケート調査票

【お問い合わせ先】

京都市 建設局 土木管理部 河川整備課 整備第二担当：池田，柏原
TEL：075-222-3591

高瀬川再生プロジェクトについて

(1) 目的

護岸の損傷、老朽化に伴う漏水によって、水枯れが発生していることから、抜本的な修復を行い水量を確保するとともに、魅力ある水辺づくりを目指します。



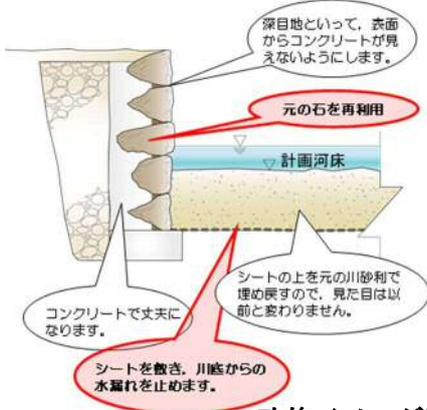
護岸損傷の状況



高瀬川の水枯れの様子

(2) 主な対策

- ・石積護岸の積み直し
- ・川底に遮水シートを敷設



改修イメージ断面図

改修前後の写真（元立誠小学校前）



改修前



改修後

(3) 事業の進捗状況

- これまで 【平成22年度～令和2年度】
一之船入付近～五条通の工事 L=約1.8km
- 現在 【令和2年度～令和3年度】
五条通～七条通南（船鉾橋）の測量及び設計作業中
地域の皆さまと意見交換しながら、進めています。

第1回 菊浜高瀬川フォーラム（座談会） 令和2年10月29日開催

五条通下流の樋門、親水施設の提案、ホテルの生息環境、樹木の整備について、参加された皆さまにご意見をいただきました。

【今回の取組】 高瀬川改修工事に伴う 樹木整備に関するアンケート調査の実施

樹木の伐採や植栽について、皆さまのご意見をお聞かせいただきたく、アンケート調査を行います。

第2回 菊浜高瀬川フォーラム（座談会） （開催時期は未定）

今回のアンケートの結果を反映した樹木の整備を含めた高瀬川の整備案について、ご説明させていただきます。

工事着手



位置図（整備事業区間）

高瀬川改修工事に伴う
樹木整備に関するアンケート調査
説明資料

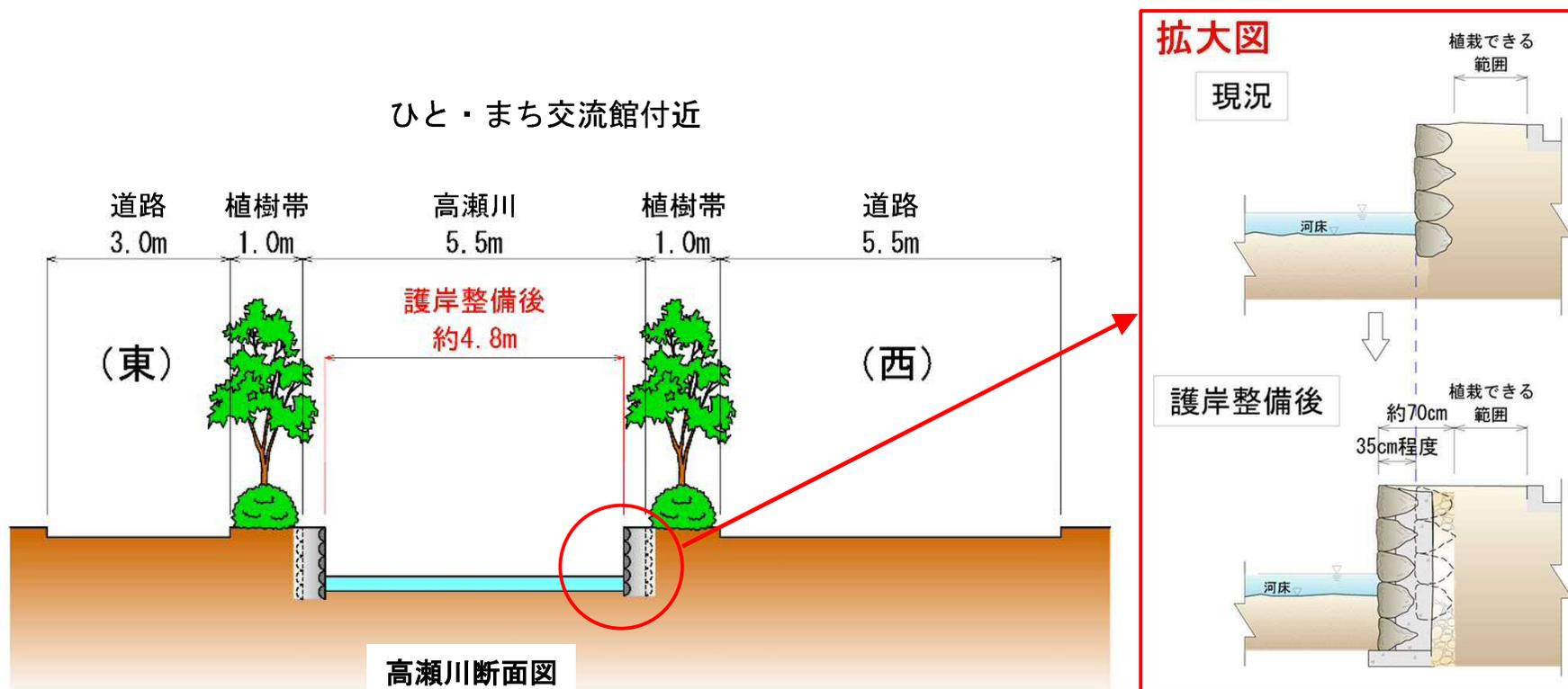
令和3年6月

京都市建設局土木管理部河川整備課

資料目次

1. 高瀬川改修工事の護岸整備について
2. 伐採する樹木について
3. 植栽する樹木について
4. 伐採対象ではない樹木
(現地でリボンを付ける樹木)

1. 高瀬川改修工事の護岸整備について



高瀬川の両岸には、道路との間に幅1 m程度の植樹帯があり、多くの樹木が生えています。

高瀬川の石積は、空積み（からづみ）といって石を積んだだけであり、今回の工事では、裏側にコンクリートを入れながら石を積みなおして、丈夫な護岸にすることとしています。

そのため、補強する幅の分、護岸を前に出す計画としています。

2. 伐採する樹木について

護岸改修工事に当たっては、次のA～Dの樹木を伐採する必要があります。

- A. 大木化により周辺環境へ圧迫を与える樹木
- B. 植樹帯の規格に合わない大径木化した樹木
(護岸や道路に影響)
- C. 腐朽が進行し倒木・落枝の危険性が増大している樹木
- D. 工事に支障となる樹木



大木化による周辺環境への圧迫



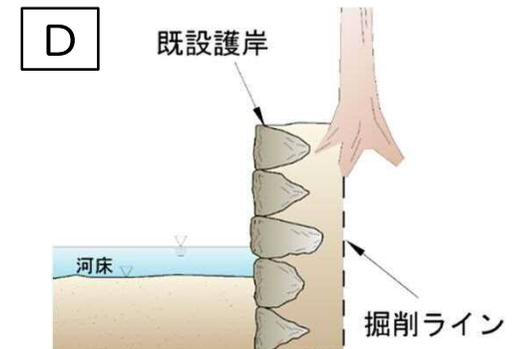
根元の肥大による護岸の損傷



開口空洞



キノコ



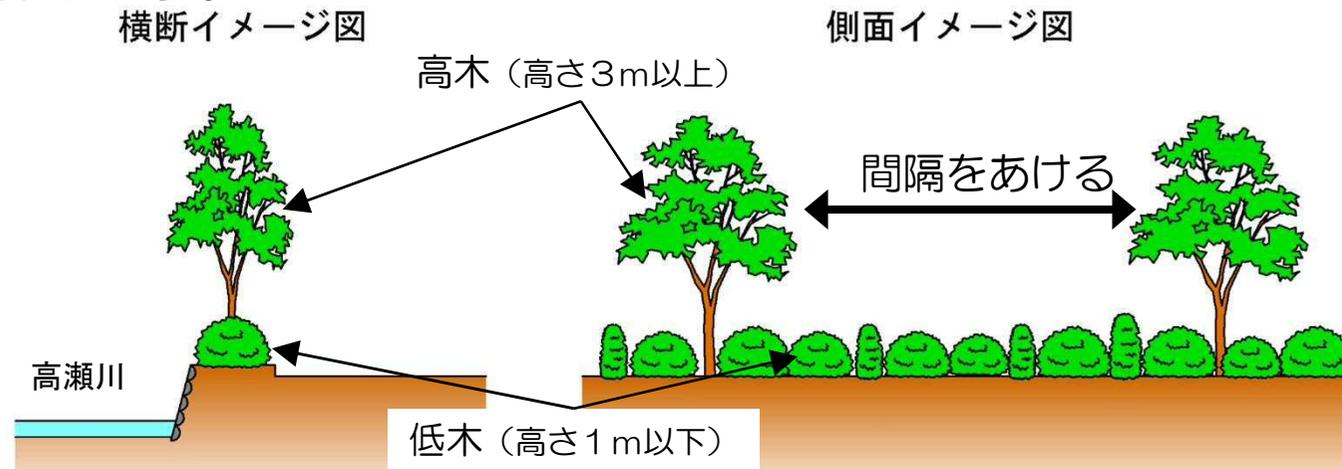
工事に支障となる樹木のイメージ図

現況の樹木（草花や低木を除く）は約600本あります。
そのうち、A～Dに該当する樹木は、7割程度あります。

※上記のA～Dには桜も含まれますが、対象の桜は更新時期を迎えていますので、ご理解ください。

3. 植栽する樹木について

- 樹木を伐採した後には、緑の景観を復元するため、アンケート結果を参考に、新たに樹木を選定し植栽します。
- 現況では、樹木の生長に伴って、相互に枝が干渉し合い植栽間隔が狭く問題となっている箇所も見られます。
- 新たな樹木の植栽においては、密植を避け、日照や風通しの良い良好な生育空間を確保するため、現地の状況に合わせて、樹木の配置や間隔を検討します。



新たに高木を植栽した後、現況樹木の5割程度になりますが、高木の間には、低木を植栽することにより、緑の量が減少しないようにします。

樹木の種類

植樹帯は市の管理地であり、個人で樹木や草花を植えることはできません。

また、樹木の健全な育成を図り、車両や歩行者の通行の支障にならないようにするため、高木の剪定、低木の刈込などの維持管理を本市で行なっています。これらの維持管理を考慮して、植樹帯には、次のような樹種を植栽しています。

高木、低木のそれぞれについて、下記の中からご希望をお伺いします。
アンケートに回答をお願いします。

高木（案）

高木	① ハナミズキ(落葉)	② サルスベリ(落葉)	③ サクラ(落葉)	④ イロハモミジ(落葉)
				
	<ul style="list-style-type: none">・直幹で枝が横張り形にやや水平に出る。・花は4～5月に完全にそろそろ前に枝先に上向きに咲く。・花の色は白。葉は秋に紅葉。・10～11月頃に赤い実。	<ul style="list-style-type: none">・樹皮は赤褐色で平滑。・薄く剥がれ斑点状の模様をつくる。・花は紅、ピンク、紫、白色などがあり、7～9月の夏の間中咲く。	<ul style="list-style-type: none">・樹形は横に広がった形になる。・3月下旬～4月上旬頃、淡紅色の花が葉に先立って咲く。	<ul style="list-style-type: none">・樹高のわりに枝幅が広がる。・新葉とともに小さく赤い花が付く。・葉は秋に黄・紅葉。

低木 (案)

低木

⑤ アジサイ(落葉)



- ・株立ち状で、半球形の樹形になる。
- ・6～7月頃、花序全体がほとんど装飾花になった手まり状の花を付ける。
- ・花色は日を経るとともに変化する。

⑥ ドウダンツツジ(落葉)



- ・樹高は1～3m, 広葉, 葉の形は単葉。
- ・4月頃にかけて、白色、桃色のつり鐘形の花を付ける。
- ・秋には紅葉を楽しむことが出来る。

⑦ ユキヤナギ(落葉)



- ・樹高は1～3m, 広葉, 葉の形は単葉。
- ・4月頃にかけて、白色、桃色のつり鐘形の花を付ける。
- ・5～6月頃に茶褐色の実が付く。

⑧ オウバイ(落葉)



- ・樹高は1～2m, 広葉, 葉の形は単葉。
- ・2～4月頃にかけて、黄色の花を付ける。
- ・枝はつる状に伸びて垂れ下がる。

⑨ クチナシ(常緑)



- ・株立ち状で、光沢のある明るい緑の葉が密生する。
- ・6～7月頃、芳香が強い白色の花が咲く。
- ・10～12月頃、橙黄色の実がなる。
- ・葉や花の形、八重咲きなどの変化がある。

⑩ ヒラドツツジ(常緑)



- ・枝が多数分岐して株立ち状になる。
- ・葉に毛がある。
- ・4～5月頃、淡紅・紫・朱・白色などの花が咲く。

⑪ シャリンバイ(常緑)



- ・幹の下部から枝が分岐し、倒卵形の樹形。枝が太く、その枝に葉が輪生して付く。
- ・葉は厚く光沢がある。
- ・5月頃、白いウメに似た花が咲き芳香がある。
- ・10～11月頃に黒紫色の実。

⑫ ヒペリカム(常緑)



- ・枝が密で株立ち状になる。
- ・葉は明るい緑色。
- ・5～6月頃にかけて、鮮やかな黄色の花を付ける。
- ・秋には葉色が赤く変化する、寒さの厳しい場所では落葉する。

4. 伐採対象ではない樹木

伐採対象ではない樹木には，現地で番号付きリボンを付けます。
(リボンが付いていない樹木は，伐採の対象となります。)



リボン（番号付き）
樹木の胸高の位置あたり

リボン（番号付き）は，
令和3年6月9日（水）～11日（金）
の3日間で設置します。
12日（土）以降は，リボンを付けたま
まにします。

ただし，リボンが付いている樹木でも，
今後の状況により，根の張り方や周辺樹木
の影響などによっては，残すことができな
い場合があります。

伐採対象の樹木や伐採対象ではない樹木を現地で
確認していただけます。

※本資料の寸法や樹木本数などの数値は，現時点での目安であり
詳細な検討を進める中で変わる場合があります。

